

2月11日おくりいえ



ライドアップされた後藤邸（28日、午後6時
20分JPG）

同プロジェクトは、県一体となつてつくる「のべおかヒカリデザイン実行委員会「きらら延岡」（遠藤啓美代表、14人）らが主同実行委員会は昨年2

延岡市東本小路の野口記念館跡地北隣にある民家「後藤邸」が、野口遵記念館建設に伴つての月末に取り壊される。1938年に建てられてから82年。改めて価値を知り、美しい建築のたたずまいを記憶として残したい」と「おくりいえ」が2月11日に行われる。イベント当日まで午後の30分～10時に後藤邸をライトアップ中。敷地内に立ち入りはできないが、外観から昭和の建築様式を見ることができる。

1/31 3月に取り壊し たたずまいを記憶に築82年「後藤邸」

近代和風建築

築82年「後藤邸」

延岡市女性委員会など

月、野口記念館の建て替えによる閉館を前に、夜間照明によって魅力を創出しようと活動する「宮崎をひかりで変える委員会」の協力で同館のライトアップを実施。今回は、建物に感謝の気持ちを込め、最後を彩つて見送る「おくりいえ」の要素を加えて実施する。

実行委員会によると、

同邸は「近代和風建築」の建物。銘木の中の銘木」と言われ樹齢100

年以上の柿にしか見られない「黒柿」の柱が床の間に使用されており、欄間などの指物（さしも）が各所に見られたりと、ぜいたくな造りが各

所に見られる。

また、長い廊下の先に離れがあり、2部屋続きの客間があり、2部屋続きの客間が見られる。5間ほどの長さの継ぎ目がない木が使われていること、板戸ではなく全面ガラス戸が使われ、広い日本庭園を見渡せることなど、当時流行した建築様式が各所に見られる。昨年4月まで後藤愛子さん（97）が暮らしていたが、野口記念館の解体に伴い転居。現在は、長男の泰さん（72）が管理している。

遠藤さんのかの同プロジェクトを提案された泰さんは喜んで受けたそうで、昨年末から庭の除草作業や荷物の整理、大掃除をして「人を迎える準

備をした」。さらに、ライドアップを前に同実行委員会も清掃した。泰さんによると「みんなが集つ場所だった」よみがえつてうれしい。昔の自分の記憶に戻った感じ」と喜んでいる。

イベント当日は、午後2時から内部を公開。自由に見学できる。同2時30分からは同邸の離れ（客間）を会場に講演会がある。

講演会の参加希望者は、名前と連絡先を建築士会延岡支部事務局（延岡35・37000、ファクス延岡35・4771、メールkenchikushikai_nobeoka@ybb.ne.jp）に申し込み。

当曰は、市役所第2駐車場（市役所西側）が利用

話をするほか、同市教育委員会文化課の増田豪さんが「周辺建築の歴史的変遷」、同委員会の岩本愛さんが「後藤邸の歴史的価値」についてそれぞれ話す。

第3部は座談会を予定

している。同4時30分か

らは音楽ステージ。市内

の音楽家がバイオリンや

マンドリン、サックス

フォーラン、フルートなど

を演奏する。同5時30分

に最後のライドアップを行つ。

イベント当日は、午後2時から内部を公開。自由に見学できる。同2時30分からは同邸の離れ（客間）を会場に講演会がある。

講演会の参加希望者は、名前と連絡先を建築士会延岡支部事務局（延岡35・37000、ファクス延岡35・4771、メールkenchikushikai_nobeoka@ybb.ne.jp）に申し込み。

当曰は、市役所第2駐車場（市役所西側）が利用

できる。

2020.1.31

今山八幡宮 奉 初の奉仕作業 境内に玉砂利敷く

延岡



境内に玉砂利を敷き詰める奉仕作業員
(29日、延岡市の今山八幡宮)

延岡市の今山八幡宮
(伊藤俊都宮司)に発足
した奉仕グループ「今山
八幡宮崇敬会(盛武一則)

会長)は29日、初の活動
として同八幡宮と今山恵
比須神社の境内に玉砂利
入れを行った。間近に控
えた九州三天えびすの一
つ「のべおか十日えびす」

を前に、境内を美しく整
え直した。

崇敬会は、氏子区域に
とらわれず、同八幡宮を
崇敬する気持ちを持つた
人たちが幅広く集まつた
応援隊。今年1月15日に
会員30人で発足したばか

り。初代会長は以前か
ら参道石段の高圧洗浄奉
仕やみこしの担ぎ手など
で護持運営に尽力してき
た盛武さんが就いた。

初の奉仕作業となつた
玉砂利入れでは、今山恵
比須神社に5~13㍑の豆
砂利、今山八幡宮に13~

20㍑の玉砂利を合計で約
30立方㍍用意。重機でト
ラックから砂利を取り出
し、奉仕作業員が丁寧に
ならしていった。

盛武会長は「これから
はいろんな形で会員を増
やして今山八幡宮を盛り
上げ、延岡の新たな流れ

を起こしていきたい」と
話した。

のべおか十日えびすは
今山恵比須神社であり、
2月10日に本えびす祭、商
売繁盛などを願う熊手を
買い求める人でにぎわ
う。